



横浜市立阿久和小学校

Akiwa elementary school in Yokohama city

学校だより

令和元年 6月28日



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

学校教育目標 「みんなかがやけ あくわっ子」

㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にする子

「植物を育てる、生き物を飼う、それは命を預かること」

校長 菊地 信明

梅雨に入り、湿度の高い日が続いています。幸い、気温の高い日があり、子どもたちが楽しみにしている水泳学習も予定通りに実施しています。今年度より、1・2・3年生、4・5・6年生の3学年合同で水泳学習を行っています。その分、人数が多くなったのか、子どもたちのプールからの歓声が、校長室まで届いてきます。夏休みまでの3週間、まだまだ入れることと思います。

さて、先日、2年生の子どもが両手で大切そうに何かをもって下校するところでした。その姿に興味をもち、話しかけてみると、それは、自分で育て、収穫したキュウリでした。緑色が濃く、とても立派なキュウリを持つその子の顔は、とても得意げでした。2年生は、一人一鉢で野菜を育てています。ちょうど、校長室の窓側に並べているので、子どもたちの世話の様子や観察する姿を見ることができました。水やりを欠かさず、生長の様子を細かく観察してきました。ミニトマトに実がつき、段々と赤くなっていく様子や花が咲き終わった後にキュウリの小さな実がどんどん大きくなっていく様子にきっと胸を躍らせたことでしょう。そして、待ちに待った収穫の日。大事そうにキュウリを抱えて帰る子どもの気持ちがとてもよくわかりました。

この時期、子どもたちは、植物や生き物と豊かにかかわっています。1年生は、アサガオを育てています。自分のアサガオのツルがどんどん伸びて、隣の支柱までいきそうになっているのを、とても心配しながら、自分の支柱に巻き直しています。2年生は、プールから救ったヤゴも育てていました。羽化してトンボとなって教室内を飛び交う様子に感動していました。3年生は、カイコです。毎日、家に持ち帰り、桑の葉をせっせとやっていました。小さな小さな幼虫が、桑の葉を食べ続け、大きくなる様子は興味津々です。そして、急に桑の葉を食べなくなったと思ったら、糸を吐き始め、繭になってしまいました。生き物の成長の不思議さを実感したことでしょう。5年生も3階ベランダで稲を育てています。これも水やりが欠かせません。少しでも水やりをしないと干上がってしまいます。秋まで続く長い長い活動です。



あくわっ子は、生き物が大好きです。毎日のようにトカゲの入った容器をもってくる子もいます。開門と同時に池の金魚を見に行く子もいます。いろいろな虫を見つけて、見せてくれる子もいます。植物や生き物とのかかわりは、命とのかかわりとも言えます。生長させるも枯らすも、そして、生かすも死なせてしまうもかわり方次第です。そこから学ぶべきことは、たくさんあります。どのようにかかわることがその植物や生き物にとっていいのか自分で考え、判断し、行動できるようになってほしいと願っています。今取り組んでいる活動は、きっと命の大切さを実感することにつながっていくことでしょう。

夏休み中は、じっくりと課題に取り組めるチャンスです。改めて身の回りの植物や生き物を観察したり、世話をしたりする課題もお薦めです。安全に気を付け、充実した夏休みになることを期待しています。夏休み明けに成長したあくわっ子を楽しみにしています。